

12月号

慈進

～地域や人を想い、志を全うする～

JCI  TM

一般社団法人 西大寺青年会議所 広報誌
Junior Chamber International Saidaiji (Japan)

2018年度

タイ
トル

2018年度を振り返って

(一社) 西大寺青年会議所 第58代理事長
柴田 潤哉



重圧と希望を胸に始まった2018年も早いもので1年が終わりました。理事長を無事全うさせて頂きました。苦難や苦勞、喜びや楽しみがあった一年ではございますが、本当に多くのメンバーや先輩諸賢、地域の方々に支えて頂いたことにまずは心より感謝申し上げます。

2018年度スローガンを「慈進～地域や人を想い、志を全うする～」と掲げさせて頂き一年間JC運動に邁進して参りました。

「第47回少年はだか祭り」では地域の青少年に伝統文化を体感することで生きる力を伸ばして頂きました。また「地域活性化事業」では牛窓の地でナイトヨガを開催し、「西大寺市民大学」では地域の方々と岡山ブロック協議会発案の特産品を使った巻き寿司「おかやまき」を作ることで自分たちの住み暮らす地域の事をしっかりと考え、地域の魅力を再発見して頂きました。

そして対内的には、メンバーに様々な役職や担いを通して切磋琢磨して頂き、年初には見られなかったような考え方や行動、スキルが見られるようになったことは私としても大きな喜びでした。また、2018年度は岡山ブロック協議会副会長としてご出向された小野直前理事長をはじめとする出向者も、多くの出会いと成長を頂

き、今後のJC運動のみならず仕事や私生活でも活かして頂けるものと確信しております。

結びとなりますが、2018年度このようにメンバーの活躍を随所で見る事が出来たことは理事長として本当に幸せでした。一方で様々な事情によりなかなか参加できなかったメンバーもいましたが、彼らの今後にも大きな期待を持って次年度以降、共に運動していきたいと思っております。2019年度も多くの皆様より倍旧のご支援ご協力をお願いすると共に、皆様のご健勝とご多幸を心より祈念申し上げます。1年間の報告とお礼とさせて頂きます。本当にありがとうございました。

タイトル 地域活性化事業

地域の魅力発信委員会 委員長
尾田 英俊

去る11月2日(金)、牛窓オーリーブ園にて「NightYoga 自然と、一つになれる牛窓の夜」が行われました。通常は午後5時までの営業時間のところ、牛窓オーリーブ園様のご厚意により閉園後に地域活性化事業として開催させていただきました。平日の夜しかも気温が8度程度という中ではありましたが、メンバーの声かけ・講師の山本先生のご協力もあり15名もの方々が参加してくださいました。参加された方々からは、「また開催して下さい」「また来たいです」といった声をたくさんいただき、少々寒い中ではありながらも、澄み渡る夜空をみながら空気を感じながら特別な体験になったことと思います。



そして、このような意見をいただけたことは観光客の増加に貢献できたものと確信しております。また、講師を引き受けていただいた山本先生からも感謝していただいたことは大変嬉しかったです。



タイトル 西大寺市民大学

地域の魅力発信委員会 委員長
尾田 英俊

去る11月18日(日)、西大寺ふれあいセンターにて「西大寺市民大学」が開催されました。岡山市東区西大寺・瀬戸内市の素材を生かしてこの地域ならではの「おかやまき」(岡山の特産品を広く知っていただくため、本年度岡山ブロック協議会にて考案された巻き寿司です。)を開発するため、西大寺青色申告会連合会女性部・岡山学芸館高等学校・隠れ家Dining Russet様にご協力いただきました。当日に至るまでそれぞれが開発に時間をかけて試行錯誤していただいたおかげで、中々の「おかやまき」ができました。各地域で使っていただければ地域の魅力がより発信されること間違いありません。また、遠く真庭からお越しいただいた「おかやまき」そのものの開発をされた道満委員長も今回の様子に感謝をしていただきました。ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。



総務委員会 委員長
大植 裕一

11月25日(公社)日本青年会議所中国地区岡山ブロック協議会新旧引継ぎ式・卒業式大懇親会が開催されました。

引継ぎ式においては2018年度佐古会長から、2019年度清板会長予定者へ運動のバトンが渡され、いよいよ2019年度が本格的に動き出しました。

そして、本年度ご出向されました、小野副会長をはじめとされます出向メンバーの皆様大変お疲れ様でした。出向で得た経験や学びを西大寺青年会議所に伝えて頂ければ西大寺青年会議所のさらなる発展に繋がると信じています。

また卒業式では、2018年度ご卒業されます各地会員会議所のメンバーが晴れやかな顔でご登場され、ステージまでの短い距離でしたが、カッコイイ姿を見せて頂きました。そして西大寺から卒業されます木村君も無事に出席する事が出来、今まで共に歩いて来たことを主返すと少し寂しい気持ちもありましたが、入会から今まで西大寺青年会議所を支えてくださり心から感謝申し上げます。





ブランドマネジメント委員会 委員長
阿部 哲也

12月12日(水)、2018年度12月例会が行われました。本年度の最後の例会ということで、独特な緊張感が会場全体を包み、メンバーの顔も凜と引き締まった中、点鐘の音が会場に鳴り響きました。

会の冒頭、柴田理事長より、「慈進」のスローガンを掲げ、駆け抜けてこられた想いと、メンバー一人ひとりの運動に対する感謝の想いをお話されました。

次に、岡山ブロック協議会2018年度の出向者一人ひとりの総括が発表されました。出向先でしか味わうことのできない経験や面白さが伝わり、次年度の出向へ繋がる総括となりました。

その後の委員会アワーでは、委員会ごとに登壇し、一年間の総括が発表されました。やりきったメンバーもおれば、少し悔いの残ったメンバーもありましたが、皆一様に前を向き、胸を張って発表する姿が印象的でした。以前例会で、柴田理事長が理事長挨拶でお話された「前を向けば、自然と前向きになる」というお言葉が頭を過り、メンバーの成長を感じる一時でした。

最後の締め括りに相応しい、引き締まった12月例会となりました。



2018年度卒業生
木村 和明

本年度、卒業生の木村和明です。入会当時広報誌でのご挨拶に「JC大学」へ入学したと書かせていただきました。早いものであれから4年の年月が経ち今年卒業いたします。

4年と言う短い期間を振り返り、私なりに走り続けた4年間であり、その走り続けた結果、自分自身で成長を感じることが出来ております。これもJCに「入学」したからではないでしょうか。思い出を振り返ると本当に多くの思い出がありました。中でも苦しかった思い出が、今となっては楽しかった思い出と変わっています。これは不思議なもので、その瞬間は苦しくても終わって見れば笑い話になります。でも、その変化を感じられるのも瞬間、瞬間の物事を全力で考え行動に移したからこそその結果ではないでしょうか。2019年度以降の現役メンバーの皆様、是非全力でチャレンジして下さい。チャレンジした者にしか見えない景色がある。必ず素晴らしい景色が待っています。只、チャレンジをするには仲間が必要です。西大寺青年会議所には素晴らしい仲間が居ます。その仲間としっかりと絆を深め西大寺青年会議所を今後も盛り上げていただけることを願っております。

結びに、私は4年間のJC生活に悔いはなし！入会させていただけたことに感謝しております。本当にありがとうございました。

